

事務事業名	旧休日夜間急患センター事業	事務事業No.	221 - 13
-------	---------------	---------	----------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
福祉部	健康保健課	健康づくり係	主任	山本 隆史	課長	林 寛侍
施策体系	総合計画	政策	2	行政経営		
		施策	2	公共施設等の最適化と有効活用		
		基本事業	1	公共施設の総合的管理の推進		
	その他の計画	個別計画	-			
事業開始年度	昭和54年度	事業終了年度	未定	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間		

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	昭和54年に開設された西町の休日夜間急患センターが平成27年7月31日をもって飯塚バスターミナル2Fに移転したことにより跡地の管理を行うもの。					
対象	働きかける相手・もの	旧休日夜間急患センター跡地				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	跡地の管理を行う、売却可能になるまで飯塚医師会等に駐車場として有償貸付を行う。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	売却ができる状態になるまで土地の管理を行うもの				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
草刈り実施	回	草刈り業務委託	1	1	2
医師会等への貸付事務	件	有償貸付件数	5	5	5

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
敷地に関する苦情件数	件	0	0	0	0
	方向性	達成目標年度	1	0	
説明	維持	毎年度			

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1	一般会計	款 2	総務費	
	大 99	その他の財産管理費	中 45	旧休日急患センター管理費	
				他 0 事業	
投入人員 (当該事務事業に 対して1年間に投 入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由 (10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.12 人 937	0.16 人 1,272	草刈り業務委託料が増加したため	0.10 人 795
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計 (A)	937	1,272	795		
事業費	直接事業費 (B)	77	182	616	
	総事業費 (A+B)	1,014	1,454	1,411	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	委託料	71	177	462	
	需用費	6	5	154	
	使用料・手数料 (受益者負担分)	77	182	616	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	一般財源	937	1,272	795	
	その他 ()				

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	普通財産の管理であるため妥当である。
効率性 評価	高い	草刈り業務委託料については、最低限必要な回数を実施しており、コスト削減の余地なし。
有効性 評価	高い	普通財産を適正に管理する事業であり、有効性は高い。また、敷地の一部を有償貸付しており、市財政に寄与している。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	改善策	実施状況
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	施設管理を適切に行えた。
		次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	敷地内の草刈時期については、繁茂する時期より前に実施すること。
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
-			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	施設管理を適切に行えた。
【課題】	-

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	（理由）引き続き施設管理を適切に行う必要があるため。
現状維持	（理由）
コスト投入の方向性	（理由）引き続き施設管理を適切に行う必要があるため。
現状維持	（理由）
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	-
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

評価変更理由	成果の方向性	・「成果の方向性」「コスト投入の方向性」ともに1次評価のとおりとする。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	
	現状維持	